

真言宗
御室派

薬園山 長泉寺

〒700-0807
岡山市北区南方 3 丁目 10 番 40 号
TEL (086) 223-7450
FAX (086) 221-0302
振込 岡山 01250-6-6418
ホームページ www.chosenji.net

第 331 号



東日本大震災より十年を迎える今春、先月十三日に福島県沖でM7・3、今日五日にもニュージーランド沖でM8・1という大きな地震が発生。あの時の苦い記憶が蘇る。

新型コロナウイルスによる危機も深刻ではあるが、我が国が抱える最たる危機は、十年前より一貫して福島第一原発である。

破損した原子炉に沈む燃料デブリは、未だに手をつけられない状態にある。東京電力が示している三十〜四十年という廃炉工程も、いかに信じていることができない。三十五年前に事故を起こしたチェルノブイリ原発でさえ、燃料デブリには未だに手をつけられないことを踏まえると、その倍以

諸行無常を生き抜く

ひともし

上の時間がかかっても全く不思議じゃない。その間、人為的なミスもあるだろうし、何より地震大国である我が国の大地がおとなしくしていてくれるかどうか、甚だ心配である。

コロナも天災も、あつて欲しく無いと願いつつも、諸行は無常。自然の摂理には誰も抗えない。何がどうなるうとも生き抜く、いのちをつなぐ。必要なのはその智慧と実践である。

仏は法身説法を以つてすべからくそれを説いている。また、過去に起きた数々の天災、疫病、さらには大戦、原爆投下。我等の先祖はそれらをことごとく乗り越えきたのだ。私たちにできない理由はない。当山に集う皆様とともに、その力を培いたい。(龍)

本尊法楽 先祖供養

万灯万華供養 本尊大祭

5月5日・6日・7日 毎夜 18時半～「万灯万華供養法要」

5月8日(土) 13時～16時 結願「中曲理趣三昧法要」

本尊厨子が開扉され 三日三晩 全9座の法要を奉修
回向塔婆 灯籠供養にて 檀徒各家精霊に回向を捧げます
5/8 結願には 岡山市内有縁の真言宗寺院様にご参集され
盛大な法要が執り行われます
大本山須磨寺副住職で YouTube でも活躍中の小池陽人師
も来られます どうぞお繰り合わせご参拝下さいませ

回向塔婆供養 二千元也/一本
灯籠供養 二千元也/一基
位牌供養申受け 三千元也/一基
※お位牌を本尊前に安置し 三日三晩 ご供養いたします

節分 星供養法会

二月二日、当山恒例「節分祭」

は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑みまして、一般のご参拝をいただかない形（総代役員様のみ）で「星供養法会」を奉修し、檀信徒皆様、並びに節分祈願札をお申し込みいただいた方々の除災招福、福寿増長を祈念させていただきました。

併せまして、RNN人道援助宗教NGOネットワーク事務局長で、黒住教教主・黒住宗道様



からの「節分の日に、宗教の違いを越えてコロナ禍終息を心ひとつに祈願しましょう」という呼びかけに賛同し、他派、他宗、他教の皆様とも広く力を合わせ、新型コロナウイルス禍を人類が早期に克服できるようお祈り合わせさせていただきました。

なお、通常は参拝した子どもたちで分けるお供えの御菓子は、社会福祉法人備作恵済会「若松園」（児童養護施設）様に寄付させていただきました。

故・西岡昇元総代長

十三回忌法会

第十五期

総代会（岩見徹総代長）

は三月二日、平成八年（二十一年ま



で総代長をお勤め下さった故・西岡昇元氏（法号・大鑑院昇徳慈法居士）の十三回忌法会を当山本堂にて営みました。

西岡氏は、十三年におよぶ総代長在任中、観音堂の大改修、境内参道整備、樂陽廟建立、中興大法会、開山五百周年奉讃会など、多くの大事業を成し遂げ、当山に多大な功績を残されたお方です。

この度、新型コロナウイルス感染症の影響で県外のご遺族が帰国できないことから、総代会で発起し、氏の功績を称えるところにもその菩提を祈る法会を行った次第です。

境内墓地整備工事

当山境内にある墓地の整備が進んでいます。

今夏より建設が始まる「八角円堂（仮称）」建立予定地の境内墓地一角は、現在使用されている各家皆様よりご理解とご協力を得て、さらには無縁墳墓については官報に掲載し、順に整備をさせていただいております。本年五月（六月をめぐり）に墓塔の移設を完了し、更地となる運びです。



長泉寺「八角円堂（仮称）」新築デザイン原案図

哀悼 廣畑榮子さん

法号 珠光院榮室寿禎大姉

当山世話人で、合唱団、写経、華道、茶道など、お寺の各種文化活動を長くともにしてきた廣畑榮子さんが、去る二月二十日、算九十三歳で、ご逝去されました。日頃よくお寺に来られる方でしたら、廣畑さんをご存じの方も多いかと思います。お寺で過ごす時間が大好きで、お元気な頃は毎日といっていいほどお寺に顔を出して下さるお方でした。晩年に喉の手術をされたため声が出せなくなり、それをきっかけにしばらくお会いする機会も減ってしまいましたが、亡く



夏まつりでの合唱 (H28.7)

なる直前まで合唱団ナーガのD<Dを観ながら一緒に口ずさんでおられたそうです。最後までお寺に想いを寄せてくれた廣畑さんだからこそ、もう一度お寺に来てほしいと、葬儀は当山本堂にて行い、多くの仲間とも最後のお別れをするこゝができました。控え目でお淑やかなお人柄ではありながら、どんなことも仲間と一緒に楽しみ、日本文化に良く通じ、多くの方に親しまれた方でした。

廣畑さんとお寺で過ごした多くの思い出を振り返りながら、その冥福を至心に祈念申し上げます。次第です。

龍門 合掌

総本山仁和寺

御影堂莊嚴具修繕奉納

この度、真言宗御室派宗務所より、「弘法大師ご誕生二二五〇年記念事業」として仁和寺御影堂の莊嚴具の新調、並びに修復への協力要請があり、当山として御影堂大壇の四方に置く「四灯しとう」の修繕をお引き受けしました。四灯(燭台)一本の修繕費用が十五万円で、計六十万円の寄付となります。

仁和寺御影堂は、弘法大師・仁和寺開山宇多法皇・仁和寺第二世性信親王がお祀りされる御堂で、慶長年間造営の内裏清涼殿の一部を寛永年間に移築再建したものです。国の重要文化財にも指定されています。

また、仁和寺では「大師号下賜二一〇〇年記念」の事業として、「写経奉納(奉納料一千元/一枚)」、さらには仁和寺境内への「記念植樹(三万〜十万・



樹類による)」を行ってまいります。ご興味のある方は、仁和寺(〇七五・四六一・一一五五)へ直接ご連絡されるか、当山にお問合せ下さい。



二月十五日、釈尊涅槃会につき、当山本堂に仏涅槃図を掲げるとともに、常樂会和讃を唱え、一座法会を奉修しました。

新型コロナウイルスによって、社会のいたるところに影響が及び、中には危機的な状況に陥っている方も多いと存じます。『大般涅槃経』に「尊臨終の言葉として「さあ、修行僧たちよ、お前たちに告げよう。諸々の事象は過ぎ去るものである。怠ることなく修行を完成させなさい。(中村元訳)」とあります。仏教の原点を忘れないようにしたいと思います。

東日本大震災十年忌

三・一一への祈り

当山住職も実行委員として関わる「三・一一への祈りおみやま」が三月七日、臨済宗蔭涼寺様(岡山市北区中央町)にて開かれました。

平成二十三年三月十一日に発生した震災では、マグニチュード九・〇の地震により東北三陸地方沿岸部を中心に大津波が襲い、死者行方不明者は一万余名を越えました。福島第一原子力発電所では、電源喪失によって原子炉が炉心融解(メルト



ダウン)を起こし、大量の放射性物質を放出する爆発事故を起こしました。

この十年の間、当震災の影響による「震災関連死」と認定された方は三、七六七名にのぼります。そして、その三分の二にあたる二、三二三名が福島県の方です。

(公財)全日本仏教会は、この原発事故を受けて、その年の十二月に『原子力発電によらない生き方を求めて』という宣言を発表しました。その中で「原子力発電所立地の人々が事故によるいのちの不安に脅かされながら日々生活を送り、さらには負の遺産となる処理不可能な放射性廃棄物を生み出し、未来に問題を残している・・・中略・・・誰かの犠牲の上に成り立つ豊かさを願うのではなく、個人の幸福が人類の福祉と調和する道を選ばなければなりません。」と、原子力発電が抱える問題点を指摘しています。

3.11への
追悼と復興へのつどい

ボランティア基金會便り

いつも心温まるご支援、実ありがとうございます。いただいた志納金は、人道援助宗教NGO ネットワーク(RNN)を通じて、特定非営利活動法人AMDAに委託されます。

☆志納金 五、六二三円

令和三年一月十一日(令和三年三月五日)

内訳

・ボランティア基金募金

二、八一二円

湯浅章夫、佐藤恭子、石原敏江、朝森喜久子 以上四名

・東日本大震災救援募金

二、八一二円

佐藤恭子、石原敏江、岡本芳明、朝森喜久子 以上四名

防災用品の補充

長泉寺総代会は、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、防災用毛布、防災トイレ、長期保存食料、飲料水など合計約十数万円分を購入しました。

当山は、南方中道長泉寺町内会の指定避難所にもなっております。

RNN東日本大震災慰霊祭

RNN人道援助宗教NGOネットワークは今月十一日、黒住教本部（岡山市北区尾上）にある御日拝所にて、表題の慰霊祭を開催。カトリック、黒住教、真言宗、天台宗、立正佼成会が集い、東日本大震災十年忌につき犠牲者を追悼しました。当山からも住職らが参列しました。

ひきこもり支援

ひきこもり支援センターきづき（社会福祉法人岡山市手をつなぐ育成会・岡山市北区広瀬町）は、昨年より毎月一回、要支援者の方による当山での軽作業を続けています。

お寺だより『いづみ』の発送作業や境内清掃など様々な作業を通じて、経験と自信を身に付け就労につなげることを目的としています。

二月二十五日は、本堂と観音堂の回廊清掃をしました。

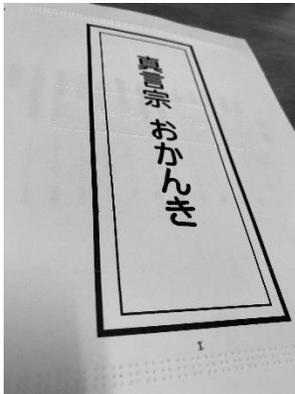
『おかんき』

点字経本の作成

当山はこの春、視覚障がいを持つ方のために、真言宗在家勤行式である『おかんき』の点字経本を制作しました。

従来のおかんきだけでは、視覚障がいがある檀徒様が大変不便をされることから、以前よりご縁のある「ワークランド虹」（就労継続支援B型事業所・社会福祉法人岡山ライトハウス）に作成を依頼し、この春完成する見込みです。

多様性の時代、どのような障がいのある方でも仏法に触れていただける菩提寺でありたいと願っております。



不動は「うごかない」？

日本語と真言宗 名誉住職 光研

お不動さまの「不動」を「うごかない」と読んだらいけません。これは「動じない」「ゆるぎない」と読んでこそ、よく日本語の解釈ができ、不動信仰が深まることかと存じます。

不動は梵語アシヤラ・ナータで、漢語で不動、無動と訳されましたが、活動しない、アクティブでない、ということではありません。

不動明王は大日如来の使者。民衆の先頭に立ち、火の中（火生三昧）さえもいとわず大日如来に代わって行動する勇猛果敢な仏様です。



大日如来といえ、これも不動明王と同じく名前から意味を勘違いしやすい仏様です。

大日は「大きい日」の如来と読めますが、太陽光より大きい仏という意味ではありません。経文にも太陽をもつて、たまたま諭とするなかとありますが、大日は太陽光Ⅱ世間の「日」ではないのです。

大日の輝きは方分（方向性と分限性）を持ちません。陰と日向、昼と夜の区別がなく、除暗じょあん遍明。それを即ち「遍照」といいます。そしてその遍照たる大日の輝きが、光無消滅で永遠、何よりも強いことを「金剛」といいます。

普段何気なく「南無大師遍照金剛」と弘法大師の密号を唱えています。これは大師を崇め、救いを乞うているからではありません。自分自身も大日如来の如く輝き、他を利する行を實踐しようとする宣言であり、困難が多けれども金剛、ゆるぎない不動の心を持つて取り組もうとするものでありましょう。

4月21日(水) 9:00~

写経勤行 / 開眼供 / 法話 / 他

今春、修復を無事
終えて当山にお戻り
になるにつき、開眼
供養を行います。
このご縁に、どう
ぞ皆様ご参拝くださ
いませ。



明暦元(一六五五)年の銘が入る当山所蔵弘法
大師像が、三五〇年以上におよぶ経年劣化のた
め、昨年より(株)田平製作所(京都)において修復
作業を行っておりました。
当尊像は、岡山小橋町の片岡文右衛門が彫った
像で、元禄頃の当山住職・審教阿闍梨の発願によ
るものです。修復作業の過程で、尊像頭部内より
審教阿闍梨の写経が納められていることが判明
するなど、当山の歴史を物語っています。

弘法大師尊像 修復開眼法会

当山什物 明暦元年銘

長泉寺
将棋クラブ

毎月一回
客殿で開催中

■43回目
3月27日(土)
13:30-16:00

■44回目
4月11日(日)
13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくやっています
どなたでもお気軽にご参加ください(参加無料)
※コロナの状況によって、変更になるこ
とがあります。事前にお問合せください。



永代供養塔「樂陽廟」

春秋祭

4月21日(水) 10時~

奉修 合同追悼法要

いづみ ペーパーレス化

可能な御方に限り、『いづみ』のペ
ーパーレス化にご協力いただいております。
※すでにご登録をいただいたお
方には感謝申し上げます。

ご対応いただけます檀徒様には、
下記アドレスまでお名前とご住所を
ご送信下さい。

idumi@chosenji.net

長泉寺月次縁日法会へ

どうぞご参拝ください*

毎月 8日9時~ 本尊縁日法会

21日9時~ 大師縁日法会

// 10時半~ 法話

28日9時~ 不動縁日護摩供

ご参拝時には、健康状態をお確かめの
上、マスク着用をお願いいたします